

ものれ〜る 60号



平成27年8月15日発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線273)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

第34回多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

平成27年7月28日(火)立川市において開催されました。

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会とは、多摩地域の都市モノレール等の建設を促進し、南北交通結節機能の強化を図ることにより、公共交通機関の不足を補うとともに自立的都市圏の確立と、地域社会の開発及び住民福祉の向上を図ることを目的として多摩23市3町1村により昭和57年に設立された協議会です。武蔵村山市長が議長を務めました。



決議

国は平成二十七年を、東京圏における今後の都市鉄道のあり方について、包括的な検討を行う年次としている。また、本年7月東京都は、広域交通ネットワーク計画を発表したところである。このような状況の中、東京都の都市鉄道ネットワークについて、すでに計画されている路線の着実な整備推進は、沿線のまちづくりを促し各拠点間のさらなる連携や交流を可能にするものである。

今後、東京の都市力を一層高めていく必要性が増す中で、多摩都市モノレール事業は、区部との格差を是正し、多摩自立都市圏の形成を図る上で重要な公共交通網の根幹をなすものとして、構想路線全線の早期事業化が強く望まれている。

このうち、多摩センター駅・上北台駅間約一六キロ区間においては、多摩都市モノレール株式会社の実施したサービス向上などの取組みにより、平成二十五年から一日平均の乗客数が十二万九千人を超えており、地域市民の足として、定着してきたことは、まことに喜ばしい限りである。

これもひとえに国、東京都はもとより地元国会議員及び都議会議員の皆様のご尽力とご支援の賜であり、ここに深く感謝申し上げるとともに、次期整備路線の迅速な事業着手に向け、さらなるお力添えをお願いするものである。

現時点において次期整備路線のなかでは、上北台駅・箱根ヶ崎間が「事業化すべき路線」として、また、多摩センター駅・町田間及び多摩センター駅・八王子間が「事業化に向けて導入空間の確保に着手すべき路線」として位置付けられている。

今後とも、多摩地域を相互に結ぶ多摩都市モノレール全線九十三キロの早期開業を期するため、国、東京都及び関係機関に対し、引き続き事業促進を強く求めるとともに、促進協議会加盟市町村が一致協力し、事業の促進に全力で取り組むことを、ここに宣言する。

右、決議する。

平成二十七年七月二十八日

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

多摩都市モノレール(株)

決算報告

第23期(平成23年度)から6期連続の黒字決算となりました。

○乗客数

区分	人数	前期比
年間	約4,738万人	0.3%増
日平均	129,820人	

○運輸収入

区分	金額	前期比
年間	76億96百万円	0.4%減

○運輸雑収

区分	金額	前期比
年間	2億16百万円	1.9%増

○純利益

区分	金額
第29期(平成26年度)	4億5百万円(黒字)



多摩都市モノレール & MMシャトル

～夏休みにお得券でお出掛けしよう!～

○多摩モノレールセット券

多摩モノレールの日乗車券と、沿線施設の入園券・入園券引換券のセット券。
※詳細は多摩モノレールHPをご覧ください。

○MMワンデーフリーパス(500円)

利用者が指定した1日において、MMシャトルを何度でも乗り降りできる一日乗車券。

車内、立川バス瑞穂営業所・上水営業所で販売中。

モノちゃん募金

多摩都市モノレール延伸実現時に必要な資金を積み立てるため、多くの皆さんが気軽に寄付していただけるよう市が行っている取組です。募金箱は、市内の公共施設や協力事業所に設置しているほか、市の各種イベント開催時にも設置しています。



7月18日(土) ひまわりガーデン武蔵村山

11,055円の募金をお預かりしました。ご協力ありがとうございました。

次回は、観光納涼花火大会で行う予定です。

NEW!

モノレールスイーツ

の発売を計画!!

村山げんこつシューを販売している「ケーキ工房 La Boum(ラ・ブーム)」さんと新スイーツの計画をしております。

発売は10月を目標とし、現在、急ピッチで準備を進めております。10月以降のイベント等でも販売を予定しておりますので楽しみにしててください♪

